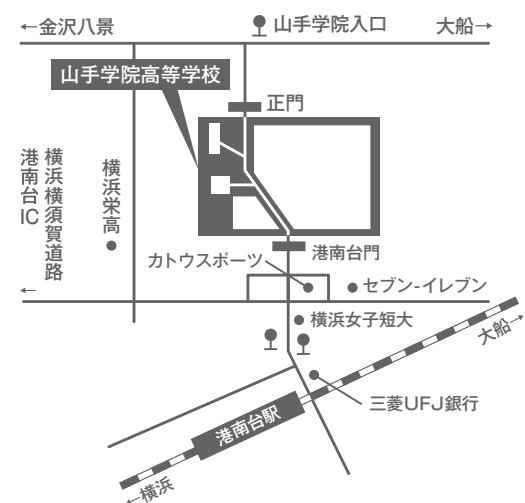


MAP



ACCESS

- JR京浜東北・根岸線 港南台駅下車 徒歩12分
横浜駅～港南台駅 24分 大船駅～港南台駅 7分
- 横浜市営バス45、111系統ほか 横浜女子短期大学前下車
- 神奈川中央交通バス大船～金沢八景線ほか 山手学院入口下車

ADDRESS

- 〒247-0013 神奈川県横浜市栄区上郷町460
- 045 (891) 2111
- www.yamate-gakuin.ac.jp



YAMATE
山手学院高等学校



「新たな時代への挑戦」

IoTで人とモノがつながり、AIにより必要な情報が必要なときに提供され、

ロボットや自動走行車で人の可能性が広がり、社会の変革によって

多様なニーズに対応するSociety5.0時代が到来しつつあります。

この新たな時代は、決してAIやロボットに支配され監視されるような未来ではなく、

一人ひとりの人間が中心となる社会であり、世界の多様な課題の解決にも通じる社会です。

加速度的に変化し、複雑で予測困難となってきた社会では、

答えのない問いに対して挑戦し、新たな価値を生み出していくことが求められます。

山手学院は、生徒一人ひとりに寄り添い、新たな時代への挑戦を全力でサポートします。

さらに自らに誇りを持つとともに、あらゆる他者の誇りと自由を尊重し、

多くの人と協働しながら社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、

その資質と能力の育成を目指します。新時代に挑む結果として、成功と失敗が生まれます。

山手学院の創設者のお一人である江守節子先生が、ご自身のアメリカ留学時代を振り返ってこのように

語っていらっしゃいます。「……こうして、すべてアメリカ流に勉強していった、ひとつ悟りました。

ハナからてんでだめだということは、この世にはない。努力すればなんとかなる。要は努力しなければだめだ

ということですね。あとは、その努力をどこまで続けるか、という持続力の問題なんです。」

そして、江守節子先生の口癖は「Never Never Give up!」でした。

たとえ失敗しても、新たな一歩と考えて挑戦し続けてください。

そして、よりよい未来を創造するために世界の舞台で活躍し、世界で信頼される人間になり、

最終的には、個人と社会の多様な幸せ (well-being) を実現してほしいと思っています。

校 長

簗田 大

山手学院は、「未来への夢をはぐくみ、

その夢の実現をたくましく になっていく人」

すなわち、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を

育成することを、建学の精神としています。

教育方針

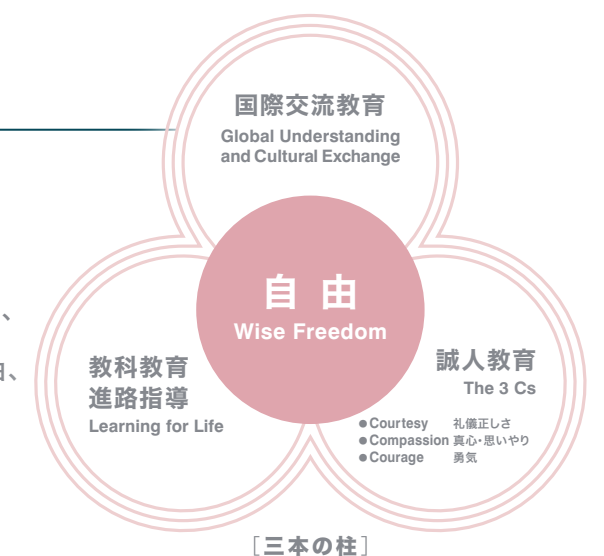
建学の精神を実現するために、

本校では「三本の柱」を教育方針に定めています。

三つの柱の中心にある自由とは、自らに誇りを持つとともに、

他者の誇りと他者の自由を尊重する姿勢の上に成り立つ自由、

すなわち「Wise Freedom」です。



国際交流教育

多感な時期に世界を経験し、将来の糧となるように。
全員参加の「北米研修プログラム」を高校2年で実施しています。



「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」を育成するという目標を実現するためには、
単に教室の中で世界について学ぶだけではなく、高校生という多感で柔軟な吸収力のある時期に、
直接「世界」の中に飛び込み、体験することが必要だと考えています。

山手学院で学ぶすべての生徒にその機会を与えるのが、本校の国際交流プログラムです。

高校2年での北米研修プログラムを柱として、国連世界高校生会議（UNIS-UN）への生徒派遣などを行っています。

GLP（Global Leader Program）では、身のまわりから世界の課題にまで目を向けて解決策を見出していく

SDGsやアントレプレナーシップ、プログラミングなどについて学ぶ多種・多様なプログラムを実施しています。



国際社会で活躍する人間に
育つために、
何を心がけるべきなのでしょう？



国際交流部長 佐藤 友則

グローバル化が進む世界。現代は、「世界で活躍する人材＝一握りのエリート」という時代ではありません。いろいろな立場の人が国境を越え、従来以上にさまざまな分野で活動することが当たり前の社会になっています。ではその国際社会において、日本で学ぶ子どもたちが活躍する人間に育つためには、何を心がけるべきなのでしょう？

山手学院の建学の精神である、「世界を舞台に活躍でき、世界に信頼される人間」の育成を実現するためには、教室の中で世界について学ぶだけでなく、多感で柔軟な吸収力のある時期に、直接「世界」に飛び込み、自ら経験することが必要です。

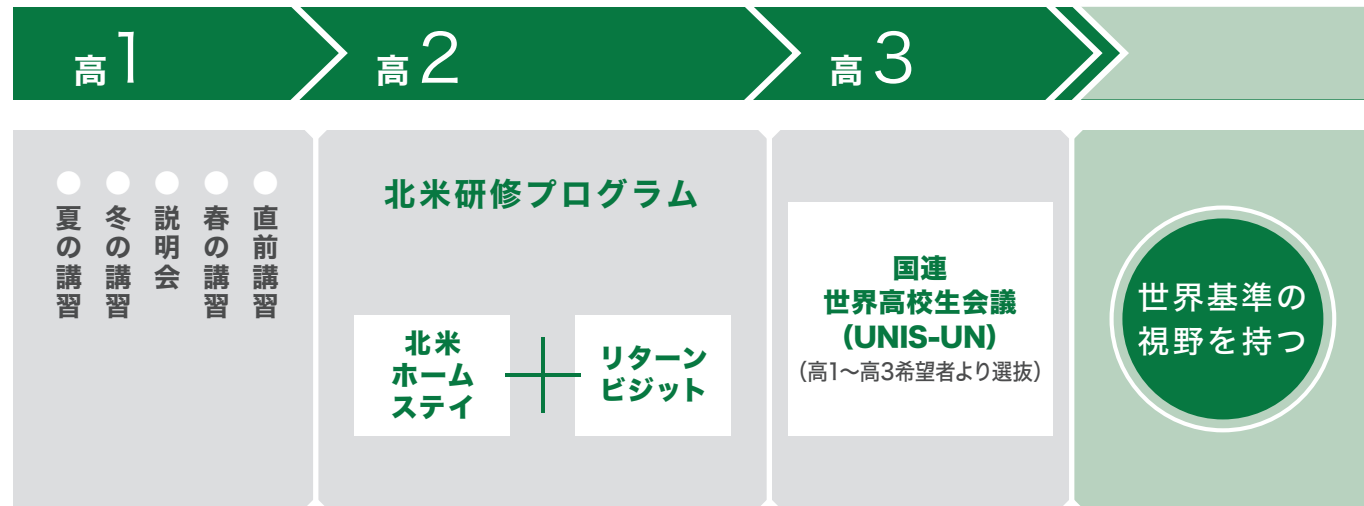
本校の国際交流プログラムは、すべての生徒が参加する高校2年での北米研修プログラムを柱として、世界各国への1年間の留学制度、世界各国の代表と議論する国連世界高校生会議（UNIS-UN）への生徒派遣などを行います。

単に英語を話せるようになることを目標とせず、お互いの文化の違いを知り、それぞれの文化のよさを見出すことを通して、文化の差に阻まれないコミュニケーション能力が身についていきます。多様な仲間とふれあうことで、ものごとに対する考え方が豊かになり、新しい環境に飛び込むことで、今まで気づかなかった自分を発見することにもつながっていきます。

自らの意思で学び、自らの力で行動する。そのためのツールとして語学力を高めながら、知らない土地への好奇心や異文化への理解を深めていく。これがグローバル化した「世界」におけるスタンダードであり、世界で個々がパーソナリティーを発揮し、人々の信頼を得て活躍していく原点だと思います。そして、それが自然に身についた大人に育っていく環境が、山手学院にはあります。

国際交流プログラム

多彩な国際交流プログラムを通じて、広くて多様な世界を実感し、世界基準の視野を育てます。



北米ホームステイ



高校2年生全員参加で1969年度から行っています。4月中旬、15泊16日の日程でカナダ、アメリカの都市へ行き、2人1組でホームステイをします。日本の文化紹介やパフォーマンスを行うほか、現地の学校の行事に参加。世界を肌で感じる2週間です。

リターンビジット



山手学院の生徒が訪問したアメリカやカナダの生徒を7月下旬に日本に迎え、山手生の家庭にホームステイしてもらいます。山手生と一緒にクラブ活動を行ったり、地域での活動に参加したり、横浜・鎌倉・浅草などを散策したりします。

すべてが素晴らしい思い出

My homestay in Japan was nothing short of wonderful. While I cannot identify a single most memorable event – as all of them were – the greatest experience was being so warmly welcomed by my host family. They were so, so kind and eager to make our trips great. Visiting their grandparents near Mt. Fuji was certainly a highlight – the grandmother had a matcha tea ceremony with us and it was amazing. All the food was INCREDIBLE. Thank you so much to my host family!

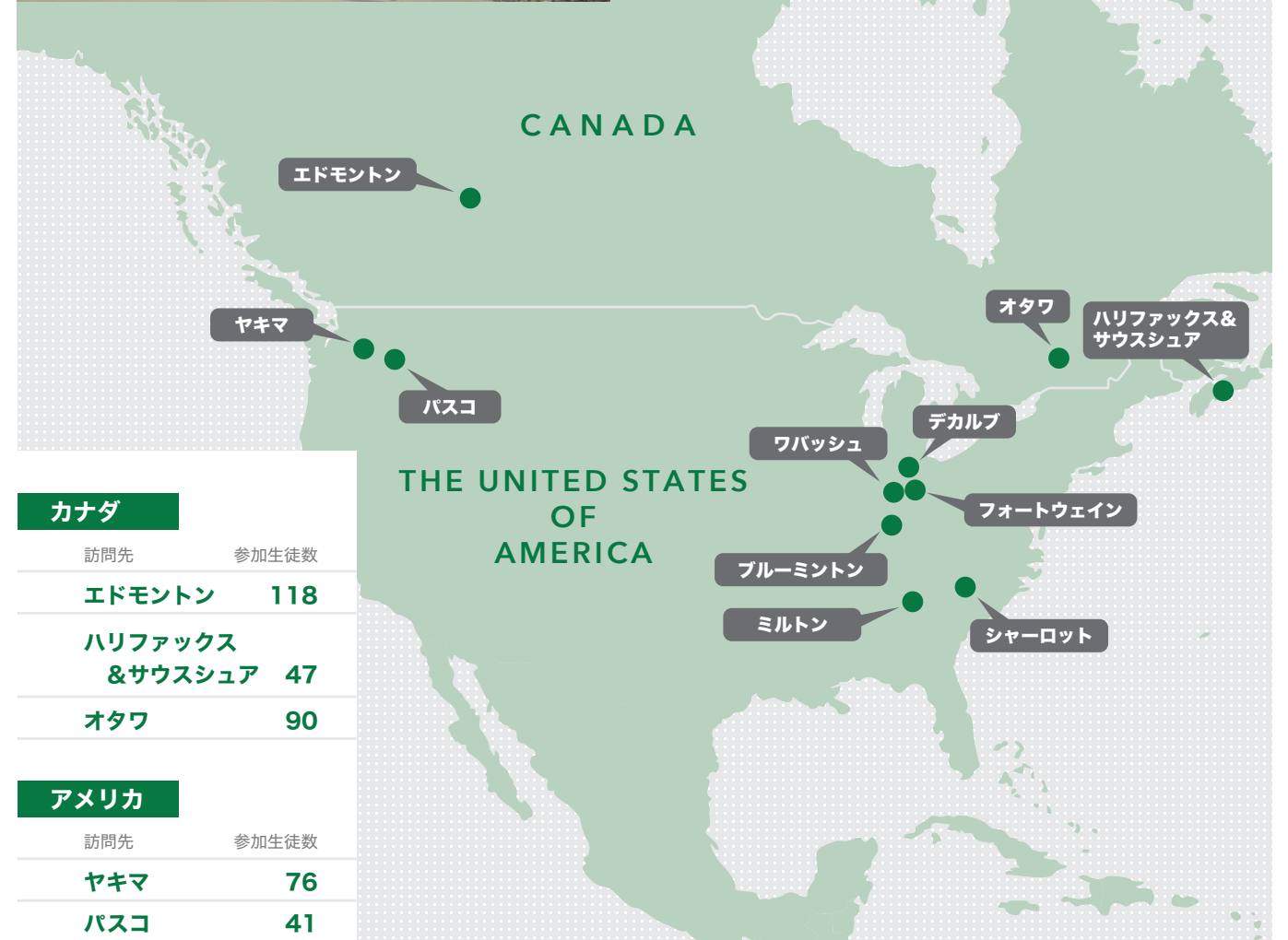
国連世界高校生会議 (UNIS-UN)



ニューヨークにある国連国際高校の生徒たちが中心となり企画して行われるこの会議は、毎年3月上旬、国連本会議場を舞台に開催されます。世界を取り巻く問題をテーマに、関連分野の第一線で活躍する方々をゲストスピーカーとして招き、世界数十カ国の高校生と意見交換・交流を行います。本校は1993年から参加しています。



第57回 北米ホームステイ (2025年)の訪問先



カナダ

訪問先	参加生徒数
エドモントン	118
ハリファックス & サウスシュア	47
オタワ	90

アメリカ

訪問先	参加生徒数
ヤキマ	76
パスコ	41
フォートウェイン	42
デカルブ	36
ワバッシュ	42
ブルーミントン	42
ミルトン	42
シャーロット	40



Global Leader Program

20年後の世界で活躍する人材、「Change Maker」の育成に向けて。

これまで非認知能力の育成を目的に「SDGs」、「アントレプレナーシップ」、「プログラミング的考え方」の3つの新しいコンセプトを再定義しました。社会的課題に対する解決志向そして社会や環境に対する責任感と行動力を促す「社会課題への意識」の3つを柱に、

「プログラミング的思考力」、「英語対話力」、「哲学的思考力」の5つのコンセプトで行ってきた今年、従来のコンセプトを統合し、より深化した思考力と実践的な取り組みを重視したを育む「課題発見・解決力」、物事を多角的に考察する「論理的思考力」、多角的な視点と柔軟な発想力を兼ね備えたグローバルリーダーの育成を目指します。

前期講座

ゲーム作りで学ぶプログラミング基礎

ゲームエンジニアとしての経験を持つプロ講師から、Unityというツールを使った実践的なゲーム開発を学びます。

令和の学生に伝えたい 最新AIの活用法

ChatGPTやClaudeなどの生成系AIを活用し、それぞれの性能を比較しながら、効果的なAIの活用方法を学びます。

Webデザイン オリジナルHP制作

Web制作における重要な概念を学びながら、実際に自分のアイデアを形にするプロセスを体験します。

未来創造講座 未来の山手学院を描こう！

理想の未来を実現するために「2040年の山手学院」をチームで描き出すことに挑戦します。

じっくり考える会

日常の中でふと感じる疑問や見過ごしてしまいがちな問いについて立ち止まり、ゆっくりと考える時間を共有します。

みんなのリーダーシップ講座

読み物や映画といったケーススタディを通じてリーダーシップを考えたり、実践から学んだりします。

リターンビジット学生会議

夏休み期間中に開催される「リターンビジット学生会議」に向けた準備を行います。会議は全て英語で行うため、英語をたくさん使ってみたい人にピッタリの講座です。

後期講座

Pythonで学ぶアルゴリズム

プログラミング的思考を養い、問題を論理的かつ体系的に解決する力を身につけます。

農業×ICTで社会課題を解決 新たな商品を開発しよう！

ICTを活用した「スマート農業」を楽しく学びながら、企業や農家さんと一緒に新しい商品を開発します。

初めての探究講座

「社会課題を探究する力」を身につけるための基本的な「型」を、体験を通して学びます。

アートで語ろう！対話型鑑賞講座

グループで一つのアート作品を見ながら、感じたことを自由に話し合い、新しい視点を見つけていきます。

アイデアを商品化！3Dモデリング&プリンター講座

3Dプリンターとモデリングを使って、オリジナルの商品を企画・開発してみよう！

キャリア探究「オリジナル雑誌制作」から未来を考える

毎日新聞出版とのタイアップで、雑誌作りを総合的に体験します。

生成系AIと一緒にヘアプログラミングをしよう！

生成系AIを「ナビゲータ」として活用し、オリジナルアプリの開発などを体験します。

Season Tech 自動運転開発コース

最新技術を学びながら、実機を用いて自動運転に関する知識とプログラミング技術を身につけます。

国内ツアー

大分県 次代を拓く人材育成キャンプ



地域社会の現場でのフィールドワークを通じて具体的な課題に触れつつ、社会や経済の構造を広い視野で捉え、起業家精神を身につけます。

秋田県 グローカルリーダー育成研修



廃校を活用したインキュベーション施設「BABAME BASE」や、地域コミュニティを拡張する「シェアビレッジ」など、ユニークな取り組みが次々と進められている地域で新たなまちづくりの可能性を探ります。

広島県 同世代と共に考える平和学習



広島平和記念公園を中心に現地の若者「ピースパティ」とともにフィールドワークを行い、平和について深く学びます。

海外ツアー

シンガポールイマージョンプログラム



シンガポール国内の大学で、ディスカッションやプレゼンテーションを中心としたリーダーシップ研修に参加します。マレーシアでの文化交流も魅力です。

台湾 文化と歴史の交差点で未来を創る



歴史と文化が薫る台湾の古都「台南」、そして沿岸の進化が目覚ましい台湾最大の港町「高雄」。この2つの地域を舞台に、現地の大学生や留学生とともに英語で活動し、フィールドワークやプレゼンテーションを行います。

韓国 ソウルでつながる同世代との学びと交流



首都ソウルに4日間滞在し、韓国の文化や歴史を学ぶとともに、現地の高校や大学を訪問します。韓国の歴史と文化を体感しながら、国際的な視野を広げます。

確かな学力と自信を育成し、一人ひとりの夢をかなえるために。
大学入試を見据えた実践的な指導を展開します。



高校2年から、進路に合わせた
カリキュラムにより
実践的な教育を展開します。



教務部長 島田 和彌

中学の学習の基礎をもとに、将来の進路選択に向けて、確かな学力と自信をつける教育を実践しています。山手学院のカリキュラムは、大学受験を突破する学力はもちろん、その先の世界を見据えた教育を目指しています。

1年生は大学入試に備えた基礎力を養います。2年生から3年生にかけては進路に応じたカリキュラムを取り入れ、大学入試に焦点を合わせた実践的な教育を展開します。文系では英語・国語・地歴、理系では数学・理科に十分な時間を配分し、必要な学力をしっかりとつけていきます。またこのカリキュラムで文系でも数学・理科の履修ができ、理系でも国語・公民等に時間を配分することで国公立大学受験に必要な科目を履修できます。

また特別進学コースは、1年次より主として国公立難関大学進学を目指し、またそれにふさわしい実力がある生徒を選抜するコースです。

||| ||| ||| ||| |||

3年間の学び

||| ||| ||| ||| |||

高 1	高 2	高 3
学びの特徴		
可能性に挑戦する姿勢の育成 生徒と担任が面談をくり返ししながら、文理選択に向けて個々の適性を見極めます。	自己の将来への取り組みと開拓 特別進学コース・文系クラス・理系クラスに分け、効率よく指導。 また夏・冬・春に講習、土曜日には土曜講座を設置し、選択演習を充実させています。	
学びの具体的な取り組み		
★ 進路選択説明会 ★ 模擬試験	★ 北米研修プログラム ★ 共通テスト報告会 ★ 模擬試験 ★ 大学模擬講義(早稲田・明治など)	★ 大学説明会 ★ 模擬試験
コース		
特別進学コース	● 主として国公立難関大学進学を目指し、またそれにふさわしい実力のある生徒を選抜するコースです。 ● 2クラス編成です。	
進学コース	文系	数学・理科は選択が可能ですので、国公立志望者にも対応しています。芸術系の進路も選択することができます。
	理系	国語は高2・高3で必修、公民は公共を高2までに履修していますので、国公立志望者にも対応しています。
	英語教育	論理・表現Iでは、高2で全員参加する北米研修プログラムに向け、さまざまなシチュエーションでの表現練習や、グループ活動での会話練習、スピーチ、ホストファミリーに送る手紙の書き方などを学びます。またEnglish Skills(高2)では、4技能のレベルアップを図ります。
POINT 高2からは原則としてクラス替えは行いません。		

教科の特色

進学を意識した実践的な授業で、未来を拓く確かな力を身につけます。

国語



現在、大学入試が大きく変わろうとしていますが、単なる受験学力にとどまらない、先を見据えた言語運用能力を育成します。現代文・古文・漢文を幅広く学びながら、より深く、より緻密に考え、表現する力を養います。検定教科書以外のテキストも多用し、読解に必要な知識を幅広く習得し、論理的な思考力を養います。グループワークや発表も適宜取り入れ、コミュニケーション力や表現力も育成します。3年生では、文系・理系とも大学入試を見据えた学習を実施。問題演習と復習に丁寧に取り組むことで、志望校合格を目指します。

数学



数学的な見方や考え方を身につけ、論理的思考力を伸ばすことを目標にしています。1年生は中学数学との違いを意識しながら、中学数学の確認と高校数学の基礎の定着を図ります。知識・技能を高めるため、副教材の問題集やプリント等を活用し効率よく授業を展開します。文系は共通テスト問題レベル、理系は難関国公立大学の試験問題レベルをしっかり解ける学力を身につけていきます。さらに受験勉強の仕方、参考書の紹介と解説、マーク式と記述式の答案作成等、きめ細かく指導していきます。

家庭



「生涯を見通して、生活を自ら創造する」という視点を大切にしています。衣生活分野では、衣服機能や衣服素材の種類、洗濯の科学などを実験を取り入れながら学習します。食生活分野では、五大栄養素の働きから食品の衛生まで幅広く学習するとともに、調理実習も行います。住生活分野では、快適で安全な住環境に関する知識を深め、平面図を読み取り一人暮らしの住まい探しをします。消費・家庭経済の分野も含め、どの分野も相互に関連づけながら、自分の生活を自分でデザインできることを目標に取り組みます。

情報



情報が現代社会に及ぼす影響を理解するとともに、情報機器を効果的に活用し、コミュニケーション能力や情報の創造力・発信力を養うなど、情報化の進む社会に主体的に参画することができる能力・態度を育て、共通テストに向けた知識を習得することに重点を置いています。将来に活かすことができる情報の知識を体得、応用し、表現するために、生徒自身が主体性を持って取り組める参加型の授業を行っています。また大学生や社会人になってからも、情報化社会の進歩や新しい情報技術に対応できるよう、情報化社会の問題点や利点について学び、情報機器を操作できる基本的な力を身につけます。

地歴・公民



世界の枠組みが大きく変わり、異文化との交流が増え、新たな選択を迫られている現代にあって、日本と世界の過去と現在を知ることは、かつてなく重みを増しています。地歴分野、公民分野とも、知的探究心や多角的視点を養い、世界市民としての公正な判断を行う力と、その根拠となる教養を身につけることを目標に、各科目に合わせた独自の取り組みを行い、深く学習していきます。

英語



英語を「読み・書き・話し・聞く」だけでなく、相手を知り自分を理解してもらうことを自由に行えるレベルを目指します。1年生では中学英語の基礎を利用して、英語を運用する力を伸ばします。2年生後半から大学入試問題演習を中心に、国公立・難関私立大学の入試に対応できる実力を養成します。授業では、速読のトレーニング、リスニングやスピーキングの技能を伸ばす音声活動も行います。

保健体育



「走ること・跳ぶこと・投げること」を軸に体力の向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力、健康の保持や増進のための実践力を育成することを目指しています。男子は短・長距離などの陸上競技、器械体操、球技(サッカー、バスケットボール、テニス、ソフトボールなど)、武道(柔道)を行います。女子はダンスも行っています。保健は教科書に基づき「現代社会と健康」「安全な社会生活」「生涯を通じる健康」「健康を支える環境づくり」の4単元を学びます。心肺蘇生法の学習では実技講習により実践力を育てています。

芸術



1年生の芸術は選択制です。美術は、油絵の具を使う「絵画」、文字や色彩、写真等を駆使する「デザイン」の授業を行っています。書道は古典を通じて楷書、行書、草書、隷書、篆書、仮名の各体を学びます。字形、空間の取り方などを考えながら臨書を行い、篆刻も体験します。音楽は文化の多様性を音楽活動を通して学び、自らテーマを見つけ計画して演奏会を行います。各科目、2年・3年生の選択によってより専門的に学ぶことができます。



理科



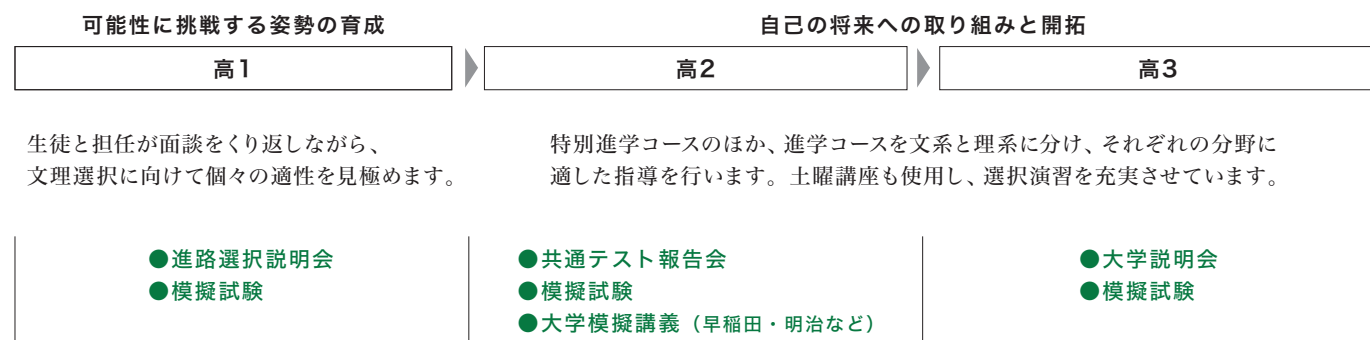
科学的な思考力と観察力を育成することをテーマに、身のまわりの自然や現象にも目を向け、学習内容と結びつけられるように指導しています。授業内容に興味を持って主体的に理解できるような授業を展開しています。また、タブレットを用いたICT教育にも力を入れています。物理では、物理量のイメージがしっかりと持てるように進めています。化学では、山手学院独自の観察・実験のカリキュラムを数多く実践しています。また生物では、生き物としての自分やそれを取りまく環境の基礎となる知識を習得しつつ、最近話題となっている分子生物学的視点で生き物を見ていきます。



進路指導

一人ひとりの希望や個性に合わせた的確な進路指導のもと、確かな実績を上げています。

一人ひとりの希望や個性に合わせた進路指導



主体的に勉強する環境をつくり、大学の先を見据えた進路指導を行っています。



進路指導部長 大竹 直

山手生は授業や部活動、北米研修プログラム、そして山手祭と充実した日々を過ごしています。その山手生が、学校にしながら大学を身近に感じられる取り組みとして、模擬講義、大学の入試課の方による説明会などを実施しています。

また、高校2年の後半になるとお互いに感化し合い、早朝や放課後の教室で勉強する生徒が現れます。校長は『『正解』のない世界を、自ら切り開こう』とよく生徒たちに話しています。まさに、山手学院では生徒が主体的に勉強する姿勢・環境が受け継がれています。

それに加え、進路情報に精通した教員が一人ひとりにきめ細かな指導をし、生徒の学力向上ならびに希望する進路の実現をサポートしています。

また、受験には生徒本人だけでなく、保護者、教職員が一体となって向き合います。昨今の入試の変化にいち早く対応すべく「保護者のための大学入試研究会」を実施し、多くの受験情報を提供しています。

本校の進路指導は、大学に入学することを一番の目標にするのではなく、その先の未来をも見据えて行っています。受験当日に本来の力を出し切ることは難しいものですが、山手生はこれまで仲間とともに最大限の努力をしてきたという自信があるからこそ、本来の力を発揮でき、結果につながれていると思います。



進学実績

2025年合格実績

抜粋・（ ）内は現役生

国公立大学			私立大学		
旭川医科	1(1)	東京海洋	4(4)	滋賀	1(0)
北海道	4(4)	東京学芸	1(1)	京都	2(1)
国際教養	2(2)	東京藝術	1(0)	京都府立	1(1)
東北	8(8)	東京農工	3(2)	大阪	3(3)
山形	1(1)	東京都立	3(3)	大阪公立	1(1)
筑波	4(4)	横浜国立	20(19)	兵庫県立	1(1)
宇都宮	1(1)	横浜国立	9(9)	鳥取	1(0)
群馬	2(1)	県立保健福祉	1(1)	広島	2(0)
埼玉	1(1)	新潟	1(1)	香川	1(1)
千葉	4(4)	山梨	1(1)	長崎	1(1)
東京	1(1)	信州	3(3)	鹿児島	1(1)
東京科学	2(2)	金沢	1(1)	平塚看護大学校	1(1)
一橋	3(3)	公立小松	1(1)	防衛大学校	1(1)
お茶の水女子	1(1)	静岡	2(2)	防衛医科大学校	1(0)
電気通信	4(2)	名古屋	3(3)		
東京外国語	1(1)	名古屋工業	1(1)		
				早稲田	62(57)
				慶應義塾	39(38)
				上智	40(37)
				東京理科	72(63)
				国際基督教	2(1)
				明治	194(179)
				青山学院	78(75)
				立教	95(93)
				中央	61(56)
				法政	111(107)
				学習院	28(27)
				成城	24(24)
				成蹊	16(16)
				明治学院	84(82)
				國學院	19(17)
				武蔵	7(7)
				日本	73(67)
				東洋	72(71)
				駒澤	26(26)
				専修	42(42)
				北里	34(33)
				芝浦工業	44(41)
				東京都市	71(67)
				東京農業	38(36)
				津田塾	11(10)
				東京女子	6(5)
				日本女子	18(18)
				昭和女子	7(6)
				フェリス女学院	2(2)
				東洋英和女学院	1(1)
				関西	1(1)
				関西学院	2(0)
				立命館	4(4)
				神奈川	128(127)
				関東学院	13(13)

2025年
国公立大学
現役進学者数
上位校

1. 横浜国立大学
2. 横浜国立大学
3. 東北大学
4. 千葉大学
4. 筑波大学
4. 電気通信大学

2025年
私立大学
現役進学者数
上位校

1. 明治大学
2. 早稲田大学
3. 法政大学
4. 立教大学
5. 青山学院大学

グループ別大学合格者数推移

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国公立	98	95	138	120	123	113
早慶上理	180	216	247	273	262	217
MARCH	505	555	682	634	604	538
卒業生数	478	485	591	496	478	494

※現浪合計



学校生活

未来につづく充実した3年間となるように。
多彩な行事とクラブ活動で、豊かな心を育みます。



多彩な行事と活発なクラブ活動が、
最後までやり抜く力を育みます。



生徒会指導部長 村上 卓

山手学院の生徒は勉強だけでなく、多様な行事やクラブ活動を通して、自己表現力や社会性を育んでいます。例年10000人を超す方々にご来場いただく山手祭(文化祭)は学内最大の行事であり、各クラスの個性があふれる工夫を凝らした展示が見ものです。山手祭だけでなく新入生歓迎スポーツ大会でも、生徒たちが主体となって企画や運営に携わり、自分たちのアイデアを実現することができます。

クラブ活動の種類は大変多く、それぞれ17ある運動部と文化部から自分に合ったものを選ぶことができます。クラブ活動に積極的に参加することで、自己表現力やリーダーシップを身につけ、人間性の成長にもつながります。また、仲間とともに苦勞を乗り越えてきた自信と誇りが、その後の受験期でも最後までやり抜く原動力となっています。全員が強制的に加入する必要がないながら加入率は高く、高校生全体では83%となっています。

生徒会活動も盛んで、毎年5月に行われる選挙により選ばれた役員が生徒の代表として活躍しています。活動の範囲は幅広く、「山手祭」「新入生歓迎スポーツ大会」「卒業生を送る会」などの行事の運営だけでなく、生徒からのつぶやきを回収する目安箱を設置し、改善策を検討するなど多岐にわたります。最近では、「かさ袋削減プロジェクト」や自動販売機のラインナップを変える取り組みも行いました。また学校説明会では、山手の魅力を伝える生徒代表としてスピーチをしてもらうこともあります。生徒会の役員の中にはクラブ活動でも活躍する生徒も多く、勉強以外でも何かを成し得たいという意識の高い、活気にあふれた集団となっています。

学校行事

4	■ 入学式／1学期 始業式 ■ 遠足(1・3年) ■ 北米ホームステイ(2年) ■ 大学入試報告会(3年) ■ 新入生歓迎スポーツ大会	8	■ 夏期講習 ■ 2学期 始業式 ■ 第1回実力テスト ■ GLPツアー 大分(1年) ■ GLPツアー シンガポール(1年)	12	■ 2学期 期末テスト ■ 北米研修講習(1年) ■ 冬期講習 ■ GLPツアー 台湾(1年) ■ GLPツアー 秋田(1年)
5	■ 1学期 中間テスト ■ 模擬試験(2・3年) ■ 大学入試報告会(2年)	9	■ 共通テスト説明会(3年) ■ 模擬試験(3年) ■ 山手祭(文化祭)	1	■ 3学期 始業式 ■ 第2回実力テスト ■ 模擬試験(1・2年) ■ 漢字検定
6	■ 高校生徒総会 ■ 大学模擬講義(2年) ■ 大学説明会(3年)	10	■ 模擬試験(3年) ■ 2学期 中間テスト	2	■ 共通テスト報告会(2年) ■ 全校ロードレース大会
7	■ 1学期 期末テスト ■ リターンビジット(2年) ■ 夏期講習 ■ 北米研修講習(1年)	11	■ 模擬試験(1・2年) ■ 大学模擬講義(2年) ■ 進路希望調査(1・2年)	3	■ 学年末テスト ■ 卒業式 ■ 芸術鑑賞会 ■ 北米研修講習(1年) ■ 春期講習 ■ GLPツアー 広島(1年) ■ GLPツアー 韓国(1年)

同じ志を持つかけがえのない仲間と達成感を味わえるクラブ活動も盛んです。



運動部		活動日の目安							
■ 空手道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 弓道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 剣道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ サッカー部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 柔道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 水泳部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 卓球部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ ダンス部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ チアリーダー部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ テニス部		※1日おき							他
■ 硬式野球部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ バスケットボール部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ バドミントン部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ バレーボール部(男)		月	火	水	木	金	土	日	他
■ バレーボール部(女)		月	火	水	木	金	土	日	他
■ マウンテンバイク部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ ラグビー部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 陸上競技部		月	火	水	木	金	土	日	他

※●必要に応じて

文化部		活動日の目安							
■ アニメーション部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 囲碁・将棋部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 演劇部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 合唱部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 華道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 軽音楽部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 茶道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 写真部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 書道部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 吹奏楽部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 生物部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 箏曲部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ ねころ部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 美術部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 文藝創作部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ ボランティア部		月	火	水	木	金	土	日	他
■ 理工学部		月	火	水	木	金	土	日	他

※●必要に応じて



エンブレムと金ボタンがポイントのネイビーブルーのブレザーに、グレンチェックのズボンにネクタイの組み合わせ、グレンチェックのスカートやスラックスにリボンの組み合わせを選択できます。明るく伸びやかな校風を感じさせる制服です。



5月から10月の期間、制服以外に略装として学校指定のポロシャツを着用することができます(式典のほか、学校が指示をした場合はシャツ・ブラウスを着用)

1966年 4月	山手学院中学校開校(男子のみ144名)2年間の義務入寮制度開始	
1969年 4月	山手学院高等学校開校(男女共学となる)アメリカ研修旅行開始(ワシントン州デイトン市)	
1970年 7月	5期生より6年間全寮制度となる交換留学生制度発足(アメリカ・カナダ・ニュージーランド・オーストラリアより14名来日)	
8月	リターンビジット開始(第1回デイトン市)	
10月	体育館完成	
1972年 3月	高等学校第1回卒業式	
1973年 5月	卒業生記念会館完成	
1980年 4月	高等学校通学制度導入	
1982年 4月	中学校通学制度導入	
1986年 4月	本校舎別館完成(4階建て:12教室・4部室)理数コース設置(高等学校)	

1987年 4月	アメリカに加えカナダにも研修旅行を実施北米研修旅行と改称	
1989年 3月	オークランドグラマー記念賞制定	
1991年 9月	松信賞、江守賞制定	
2002年 11月	オーストラリアホームステイ開始	
2005年 3月	特別教室棟完成(5階建て:技術・音楽・被服・調理・書道・特別教室8教室)	
2010年 4月	併設型中学校・高等学校認可	
10月	新図書館・カフェテリア完成	
2016年 4月	創立50周年	
2017年 4月	新体育館完成	

YAMATE Q&A

説明会などでよくある質問にお答えします。

学校生活について

Q1 夏休みなどの長期休暇の過ごし方を教えてください。

長期休暇中は5日間1タームの講習が多数開かれ、多くの生徒が参加します。また、勉強習慣を継続するため、多くの教科から課題が出ます。8月と1月の休み明けには実力テストがあります。生徒にとってはじっくり学習に取り組める期間ともいえます。

Q2 どのような生活指導をしていますか？

生徒一人ひとりが自分の力でものを見、判断し、実際の行動に移せるようにとの目標を設定し、教育環境づくりを行っています。全体には穏やかな生活指導ですが、集団生活でのマナー遵守や個人の尊厳を守ることににおいては厳しい姿勢で臨み、停学・退学を含めた対応も行います。

Q3 宗教教育を行っていますか？

特定の宗教教育は行っていません。

Q4 生徒会がありますか？

充実した学生生活を送るため、選挙で選出された会長・副会長・執行委員を中心に、自主的に活動しています。メインとなる活動は山手祭で、その他、新入生歓迎スポーツ大会や卒業生を送る会の運営・スポーツ応援なども生徒会が中心です。

Q5 保護者の海外転動の際、在籍したままで生徒を海外に連れていくことができますか？

以下の条件を満たしている場合、可能です。
①休学期間は1年以内であること。(例：4月から翌年の3月まで)
②休学時の学年に復学すること。

Q6 高入生と内部進学生が交流するメリットは何ですか？

公立中学などさまざまな環境で育った生徒との出会いは、内部進学生にとってはよい刺激になります。また、高校から入学する生徒も内部進学生の学習進度に心が引き締まって全力を傾けることになります。このような相乗効果を期待して、授業や行事を行っています。

Q7 山手学院中学校から何名くらい入学してきますか？また、内部進学生との交流は円滑ですか？

山手学院中学校からは約200名が入学します。授業は別々のクラスで行われますが、内部進学生も新しい仲間との出会いを大切にしており、部活や新入生歓迎スポーツ大会などの各種行事をきっかけに交流が生まれ、友情が深まっていきます。

Q8 学生食堂がありますか？

ガラス張りで見逃めやすい学生食堂（カフェテリア）があり、12時から15時までの営業時間中は、談話室や自習室としても使用できます。席数は200。事前に食券を購入して利用します。

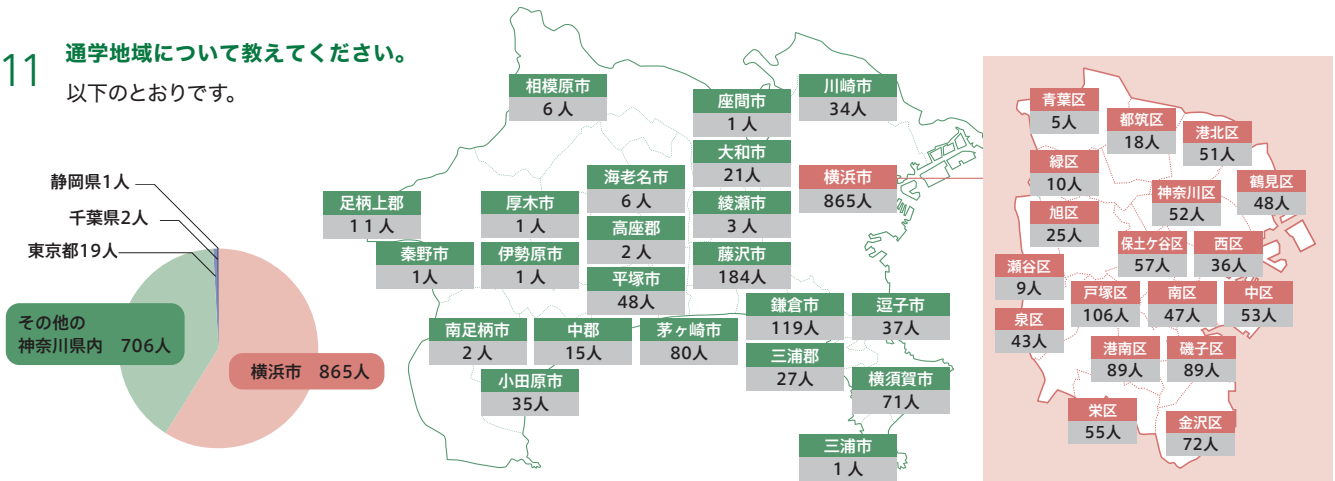
Q9 自転車通学はできますか？

生徒の安全のため、自転車通学は認めていません。

Q10 クラブ活動は盛んですか？

クラブ活動への参加は自由ですが、豊かな人間形成のためにも積極的な活動を願っています。スポーツ系は週4～5日、文化系は週2～3日程度活動しており、試験前の1週間は活動停止です。

Q11 通学地域について教えてください。
以下のとおりです。



Q12 履修単位について教えてください。

2025年度入学生の履修単位は右のとおりです。

	教科・科目等	高1				高2				高3			
		一般	進学	選抜	特進	文系	理系	選抜	特進	文系	理系	選抜	特進
国語	現代の国語 2	2	2	2	2								
	言語文化 2	2	2	2	2								
	論理国語 4									4		K4	K4
	文学国語 4					3		G2	G2				
	国語表現 4												
	古典探究 4					4		G2	G2	4		L3	L3
地歴	地理総合 2						2	3	3	C4	2	2	2
	地理探究 3	2	2	2	2					D3	H2	O3	O3
	歴史総合 2	2	2	2	2								
	日本史探究 3					A2		E2	E2	A4		I4	I4
	世界史探究 3					A2		E2	E2	A4		I4	I4
	日本史特講					B4		F4	F4	B4		J4	J4
公民	世界史特講					B4		F4	F4	B4		J4	J4
	公共 2					2	2	2	2				
	倫理 2												
	政治・経済 2									B4	H2	O3	O3
	数学Ⅰ 3	4	3	4	3								
	数学Ⅱ 4					C4	5	4	4				
数学	数学Ⅲ 3										6	K4	K4
	数学A 2	2	2	2	2								
	数学B 2					C2	3	2	2				
	数学C 2									C4	3	2	2
	数学特講											M2	M2
	数学探究							E2	E2			L3	L3
理科	科学と人間生活 2												
	物理基礎 2	2	2	2	2								
	物理 4						D4	F4	F4				
	化学基礎 2	2	2	2	2		5	G4	G4				
	化学 4												
	生物基礎 2	2	2	2	2								
	生物 4						D4	F4	F4	D3E2			
	地学基礎 2												
	地学 4												
	物理探究										F5	J4	J4
	化学探究										4	I4	I4
	生物探究										F5	J4	J4
	物理特講										G2	M2	M2
	化学特講										2	N2	N2
	生物特講										G2	M2	M2
	理科特講									E2		N2	N2
保体	体育 7～8	3	3	3	3	2	2	2	2		2	2	2
	保健 2	1	1	1	1	1	1	1	1				
芸術	音楽Ⅰ 2	A2	A2	A2	A2								
	美術Ⅰ 2	A2	A2	A2	A2								
	書道Ⅰ 2	A2	A2	A2	A2								
	美術特講					ABC12				AC8			
	音楽特講					C6				B4			
	書道特講												
英語	英語コミュニケーションⅠ 3	4	4	4	4								
	英語コミュニケーションⅡ 4					5	5	5	5				
	英語コミュニケーションⅢ 4									6	5	5	5
	論理・表現Ⅰ 2	2	2	2	2								
	論理・表現Ⅱ 2									D3			
	論理・表現Ⅲ 2									E2			
家庭	English Skills					2	2	2	2				
	家庭基礎 2					2	2	2	2				
情報	家庭総合 4												
	情報Ⅰ 2	1[1]	2	1[1]	2								
理数	情報Ⅱ 2												
	理数探究基礎 1												
総合的な探究の時間	理数探究 2～5												
	総合的な探究の時間 3～6	[1]	[1]	[1]	[1]	[2]	[2]	[2]	[2]				
合計		35	34	35	34	35	35	35	35	33	33	33	33

- ・一般と選抜は「情報」1単位分は中3で履修済みです。
- ・「総合的な探究の時間」は、北米研修プログラム(講習・レポート等を含む)で単位認定されます。
- ・右記の他に各学年にL.H.R.があります。

学習について

Q13 土曜日には授業がありますか？

通常の授業は月～金曜日の5日間ですが、土曜日の午前中には土曜講座を開講しています。補習講座や資格試験対策講座、大学受験対策講座など多彩な講座が開講されていて、生徒たちはそれぞれのニーズに合った講座を受講することができます。勉強の講座以外に語学や教養のための文化講座も開講していて、生徒と保護者が一緒に受講できる講座もあります。

開講例 「補習英語」「補習数学」「東大日本史から学ぶ歴史の教養」「基礎化学 in English」「TOEIC対策講座」「英会話」「韓国語講座」「星座とアロマ」「着つけ」など

Q14 補習はありますか？

土曜講座での補習以外にも、夏期・冬期・春期の長期休暇中には講習が実施されます。それぞれ一講習5日間程度で、基礎事項の復習から大学入試問題の演習まで、さまざまなレベルの講習が開講されます。学期中の通常授業とは違った角度から、弱点の補強や発展的な学力の強化に取り組むことができます。

Q15 指定校推薦枠について教えてください。

主 な 指 定 校 推 薦 枠（２０２５年度）			
横浜市立大学	国際教養学部・理学部 各1名、医学部（看護）2名	学習院大学	経済学部・文学部・法学部・国際社会科学部 各1名、理学部5名
早稲田大学	法学部・商学部・文学部・文化構想学部・教育学部・基幹理工学部・先進理工学部・人間科学部 各1名、創造理工学部4名	明治学院大学	全学部 計10名
慶應義塾大学	法学部・薬学部 各1名、商学部2名、理工学部 3名	日本女子大学	人間社会学部3名、家政学部2名、理学部1名
上智大学	法学部・理工学部 各1名	東京女子大学	現代教養学部3名
明治大学	国際日本学部・総合数理学部 各1名、理工学部2名	成城大学	法学部・社会イノベーション学部 各2名
青山学院大学	教育人間科学部・総合文化政策学部・コミュニティ人間科学部 各1名、理工学部5名	日本大学	経済学部・法学部・理工学部 各1名、松戸歯学部
立教大学	文学部3名、法学部・コミュニティ福祉学部・観光学部 各1名	東京都市大学	環境学部・メディア情報学部・建築都市デザイン学部・情報工学部 各2名、人間科学部・都市生活学部・デザイン・データ科学部 各1名、理工学部7名
中央大学	法学部・理工学部 各3名、総合政策学部・商学部 各1名	芝浦工業大学	建築学部1名、工学部・システム理工学部・デザイン工学部
法政大学	経済学部・グローバル教養学部・社会学部・デザイン工学部・理工学部 各1名	獨協医科大学	医学部
東京理科大学	理学部・工学部・先進工学部・経営学部 各2名、創域理工学部・薬学部 各1名	北里大学	医学部1名、獣医学部2名

入学試験について

Q16 併願入試とは、どのような入試ですか？

内申点重視型の入試で、国公立高校や他の私立高校との併願が可能です。2025年度入試ではA・B日程合わせて1357名の志願者がいました。2025年の併願入試に出願するには、国公立中学校を2026年3月に卒業見込みであることと、本校が示す内申基準をクリアしていることが必要です。2026年度入試の内申基準は、10月以降、中学校に連絡します。出願資格が厳しいため、ほとんどの受験生は合格します。

Q17 オープン入試とは、どのような入試ですか？

3教科の入試得点のみで合否を決定します。内申点は合否を決定する際に考慮しません。しっかりとした学力を養成し、受験してください。2025年度オープン入試結果の概要は以下のとおりです。

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
A 日程	40	132	131	42	3.1
B 日程	20	69	63	23	2.7

	合格最低点	受験者平均点			
		国語	数学	英語	合計
A 日程	199	63.8	61.9	57.0	182.8
B 日程	178	60.3	48.0	51.2	159.5

Q18 特別進学コースの合格者はどのように決めていますか？

特別進学コース合格者は、特別進学コース志願者の中からA日程・B日程試験の入試得点によって決定します。特別進学コースの合格ラインにとどかない場合、進学コースで合格することもあります。

Q19 山手学院が第一志望です。どの試験を受けたらよいでしょうか。

国公立中学校在籍生で、併願基準をクリアしている場合は、併願入試を受験してください。それ以外の場合はオープン入試を受験してください。いずれの場合も、必ず在籍する中学校の先生に相談してください。※私立中学校在籍生は、オープン入試を受験してください。

Q20 入学後親元を離れて通学したいのですが寮などはありますか？

寮はありません。入学後は保護者との同居が前提ですので注意してください。

Q21 志願するとき、宗教や国籍は問題になりますか？

宗教や国籍が問題になることはありません。ただし、入学後は本校が課す教科を修得し、指導に従うことが必要ですので、本校の教育内容をよく理解した上で志願してください。

Q22 帰国生について教えてください。

本校では、下記の条件に該当する者を帰国生扱いにしています。帰国生は一般の受験生と同じ試験を受けますが、一定の点数を上乗せした上で、合格を決定します。□海外在留1年以上で、2023年4月以降に帰国した者。

Q23 入試に関する問い合わせはどのようにしたらよいでしょうか？

入試対策部で質問を受け付けています。受け付け時間は、月～金（祝日を除く）午前9時～午後4時です。
☎ 045-891-2111

諸費用について

Q24 入学時に必要な費用はいくらですか？また学費、諸費用についても教えてください。

入学時に必要な費用
入学金260,000円、施設設備費240,000円です。それ以外の校納金は入学後の納入です。A・B各日程の合格者は神奈川県内公立高校の全日制合格発表後まで、施設設備費の延納が可能です。ただし、入学金を期日までに納入しないときには、入学資格がなくなります。

学費について	授業料	39,000円
学費は月額59,550円です。内訳は右記のとおりです。支払いは年6回、2カ月分ずつ銀行口座から引き落とします。	維持費	13,000円
	グローバル教育費	3,000円
	タブレット費用	3,550円
	父母の会費	1,000円
諸費用について	計	59,550円

〈制服など〉
男子：約96,000円 女子：約100,000円（税込）
（夏服、冬服、シャツまたはブラウス 夏・冬各3枚、ネクタイまたはリボン）

〈北米ホームステイ〉（令和6年度実施）
（2年：2週間）約530,000円 1年時 旅行費用半分程度、2回分割納入
航空運賃やその他の諸費用を含みます。

〈その他（年1回）〉5月引き落とし
図書館運営費6,800円、保健衛生費3,000円、生徒会費9,600円、教材費等預かり金として100,000円（遠足費用、有償学用品代、副教材代、模擬テスト代等を年度末に精算します）、および父母の会入会金2,000円

Q25 学費軽減の制度はありますか？

以下の制度があります。
1.特待生制度
入学試験の成績優秀者には下記のような特待生制度が適用されます。
施設設備費・授業料全額免除（原則3年間継続）。
2.奨学金制度
入学後、経済状況が逼迫し、学業継続が困難な状況が生じた場合、学費の一部を補助する制度です。
3.弟妹割引制度
入学金・施設設備費半額免除。